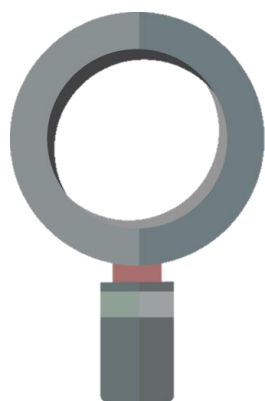


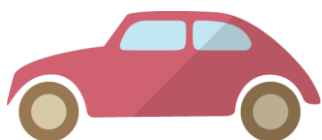


調べる学習ハンドブック



中学生用

For Junior High School Students



名前： _____

Izumisano Public Library

2023

泉佐野市立図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター

調べる学習ってなに？

「調べる学習」とは

「調べる学習」とは自分が知りたいことや、
疑問に思ったことを調べて
答えを出す学習のことです。

調べるためには、図書館の本を使ったり、
くわ詳しい人に聞いたり、
色々な方法があります。

このハンドブックで調べる学習の進め方を学んで
自分の知りたいことの答えをみつけてみよう！



目次

(1)大きなテーマを決めよう！	…p.3
ドーナツチャートを作ろう	…p.5
(2)「きっかけ」と「予想」	…p.7
(3)情報を集めてみよう	…p.8
(4)記録カードを整理しよう	…p.15
(5)調べたことをまとめよう	…p.16
著作権について	…p.22
引用・要約について	…p.23
参考文献について	…p.24
番外編 百科事典の使い方	…p.25
記録カード	…p.28
参考文献	…p.29

1. 大きなテーマを決めよう

調べる学習のテーマはどんなものでも大丈夫。

自分の好きなものや、興味のあるものから
選んでみよう！

何を調べるか迷うときは、

自分の身のまわりから探してみるのもオススメだよ！

例えば、

スポーツ、音楽、テレビのニュース
で気になったことはないかな？

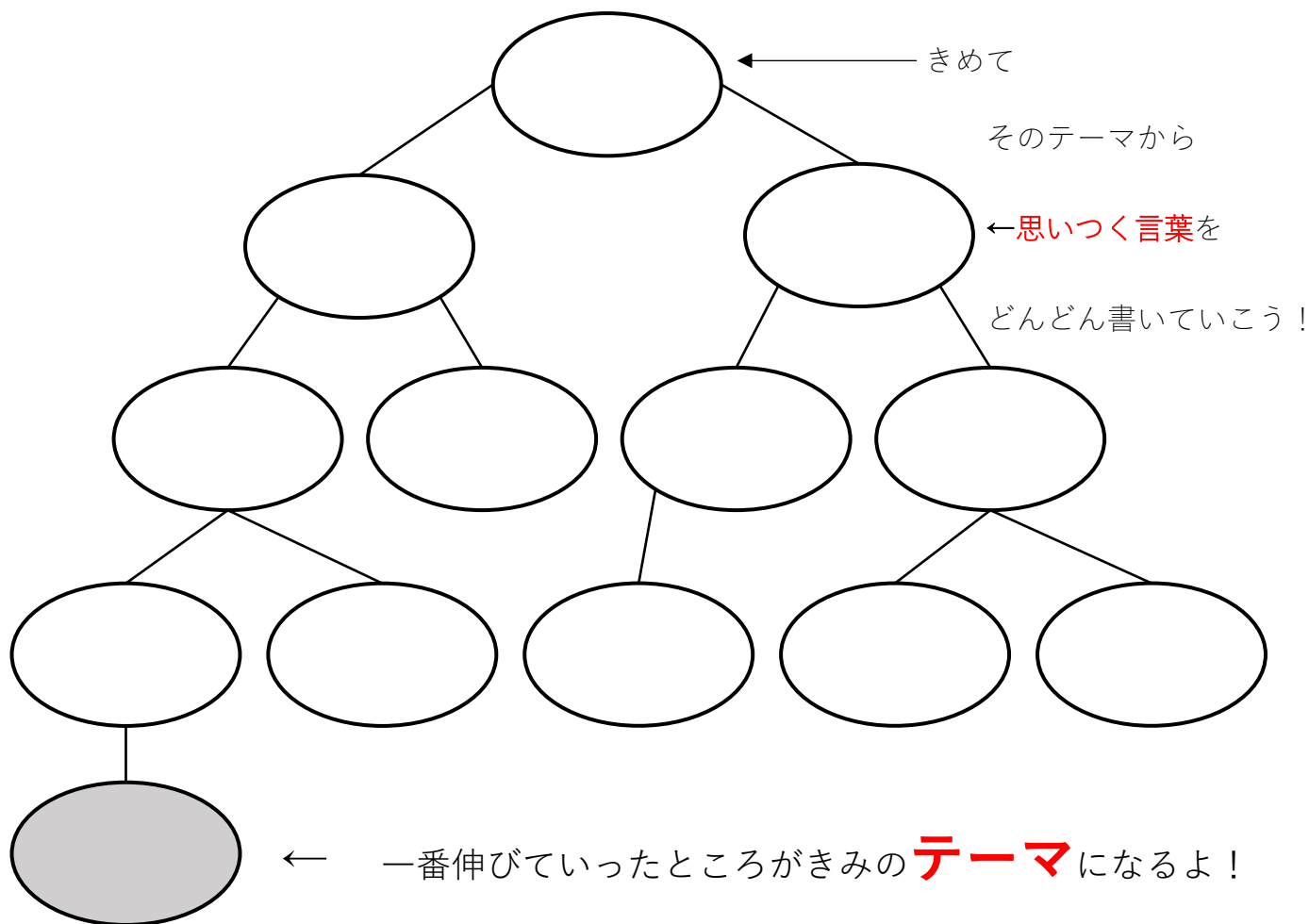


ここが一番大事なところだよ！

時間をかけてじっくり考えよう！

実際に書いてみよう！

まず1つの大きなテーマを



何も思いつかない…



百科事典を引いてみよう！

百科事典の使い方→p.25

図書館の“調べる学習コーナー”を使ってみよう！

きみのテーマは

『

』

ドーナツチャートを作ろう

ドーナツチャートを作ること、調べる目的をはっきりさせることができます。

ードーナツチャートの作り方ー

- (1) テーマをドーナツチャートの真ん中に書く
- (2) そのまわりに疑問に思う事や、知りたいことを書く
- (3) 枠の外に答えを予想して書く

【例】

えさをとりやすいように?



どうして鳥は
飛ぶの?

飛べない鳥には
どんな種類がいる?

くちばしって
なにでできて

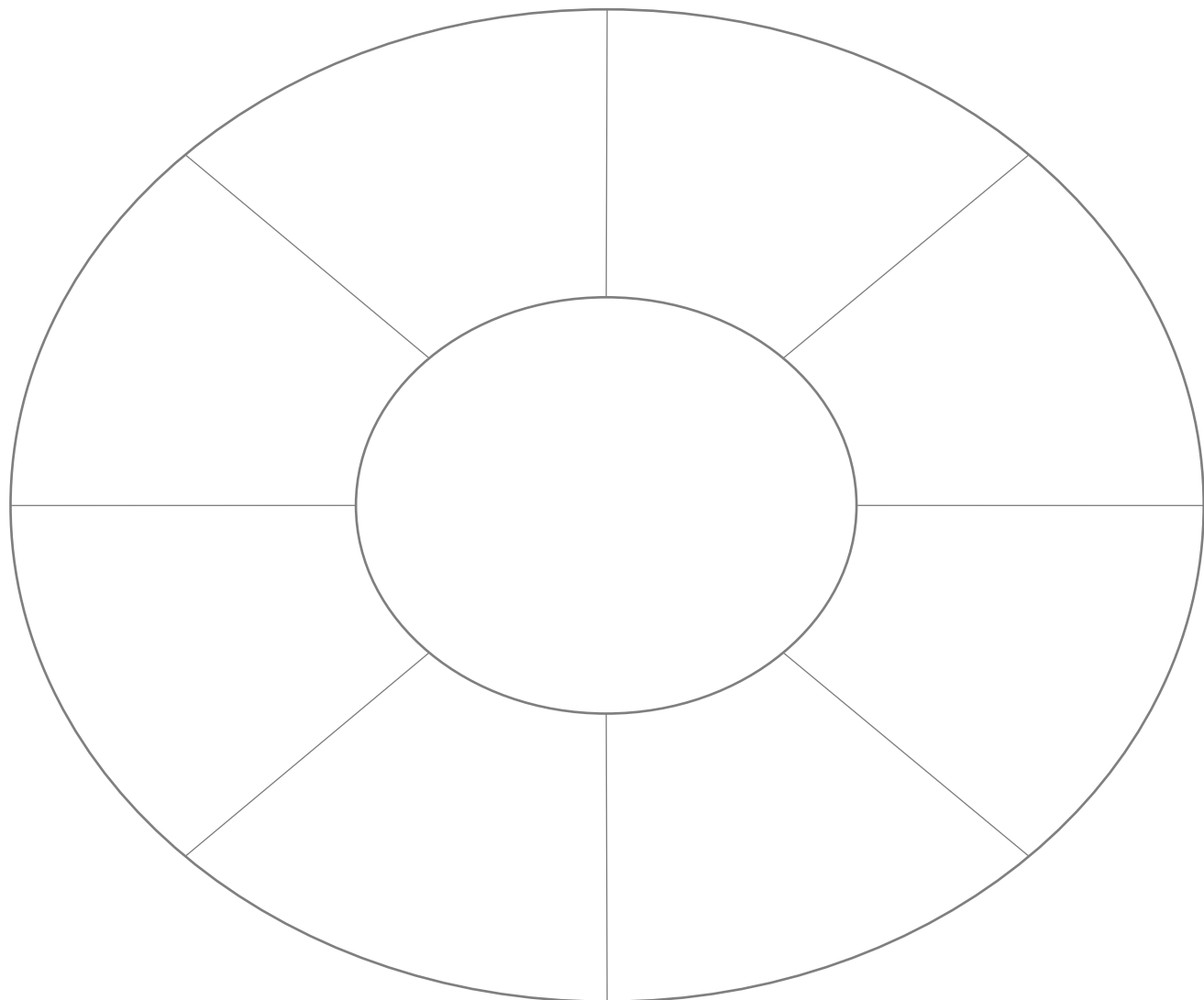
世界に鳥は
何種類いるん
だろう?

野生の鳥は
なにをたべているの?

木の实?



実際に書いてみよう！



どうしてかな？と考えてみよう！
「いつ？」「だれが？」「どうやって？」
とを考えてみるといいよ！

全部埋まらなくても大丈夫！



2.「きっかけ」と「予想」

〈きっかけ〉

調べようと思った「きっかけ」を書こう。どうして調べたいと思ったのか、わかりやすい言葉で伝えよう！

〈予 想〉

次に予想してみよう。調べることについて、自分なりに答えを予測することで、どんなふうに調べるか計画が立てやすくなるよ。

【例】テーマは『鳥はどうして飛ぶようになったのか』にしたよ。調べようと思った「きっかけ」は、空を飛ぶのは気持ちいいけど、どうして他の動物は飛ばないんだろう？と思ったから！

「予想」は高い木の上の木の実を食べるためと思ったよ。本当はどうしてなんだろう？



3. 情報を集めよう

自分が調べるテーマについて情報を集めよう。
情報の集め方にはいろいろな方法があるよ。

—情報を集める方法—

- ① 図書館 で探す
- ② インターネット で探す
- ③ 博物館や動物園 で探す

集めた情報は「記録カード」(p.28)
に書き出そう！

① 図書館 で探す

- ▶ 図書館の本は「分類」というルールで分けられていて、探しやすいくなっているよ。図書館の棚には同じ仲間の本が並んでいるので、となりの本もみてみよう。

「分類」について詳しくは次のページで紹介するよ

- ▶ 分からないときは本を調べるための本を使ってみよう！

図書館には意味を調べる辞書や図鑑など、調べものに役立つ本がたくさんあるよ。

- ▶ 図書館のスタッフに聞いてみよう！

本を探すお手伝いをするのも図書館スタッフのお仕事だよ。

このワッペンが目印！



図書館で本が探せたら、本を開いて調べたいことを探していこう！
調べたことは記録カードに書いてね。
本は1冊だけじゃなくて、

情報が間違っていたり、意見がかたよっていることがあるので、調べるときは3冊以上使うんですよ！

必ず 3冊以上 使おう！



分 類

分類というのは『仲間分け』のことだよ。

図書館では本を探しやすいように、同じ仲間を集めているよ。

0	総記	百科事典・雑学
1	哲学	考え方・宗教・占い
2	歴史・地理	歴史・伝記・地理
3	社会	仕事・政治・文化・行事
4	自然科学	宇宙・生き物・体のしくみ
5	技術・工業	乗り物・環境・料理
6	産業	農業・園芸・ペット
7	芸術・スポーツ	音楽・スポーツ・あそび
8	言語	国語辞典・外国語・作文
9	文学	読み物・詩・俳句



こんなふうに仲間分けされているので、
本をすぐに見つけることができるんだよ。
分類が分かれば自分で本を探すことだってできるよ！

② インターネット で探す

インターネットで探すのに向いているものは

(1)流行っている言葉や人の名前など、辞書や百科事典を引いても出てこない言葉を探すとき

(2)調べたいものが何か全然分からないとき

検索するときのポイント

(1)どんなキーワードを使って検索するか考えること



キーワードは短い方がいいよ！

(2)キーワードをどういう順番で入れるか考えること



順番をいれかえて検索してみよう！

注意！

インターネットの文章は、簡単に書き換えられるので、
インターネットで調べたことは、
自分のまとめには使えません！



③ 博物館や動物園 で探す

もっと詳しく知りたいときは、博物館や動物園、水族館などへ行ってみよう！実物に触れたり、様々な専門書を見たり、飼育員さんなどの専門家に話を聞くこともできるよ。

記録カードに記入しよう

調べたことは「記録カード」に記録して、後でもう一度調べたいと思ったときに、どの本を調べたか分かるようにしておこ

調べたことを書いたら、記録カードの下に
自分の考えや、思ったことを書こう！



実際に書いてみよう！

記録カード

課題(テーマ)	
調べること	
調べて分かったこと (引用する時は「」をつけて書きましょう)	
	ポイント① 調べた文章をそのまま使いたい時は、必ず「引用」か「要約」を使って書いておこう。引用と要約はp.23 に詳しく書いているよ。
自分の感じたことや考えたこと	
	ポイント② 「調べて分かったこと」を見つけた時に自分がどう思ったか、何か他に気になることはなかったか、どんなことでもいいので少しでも書いておこう。

参考文献	本・雑誌・新聞	①書名(新聞記事名)	
		②著者名(記者名)	④出版年(新聞の日付)
		③出版社(新聞紙名)	⑤請求記号(朝刊/夕刊)
		⑥利用したページ p. ~ p.	
		⑦調べた場所(図書館名)	
	インターネット	タイトル・作成者	
		情報を確認した日	
		⑧URL http://	

「参考文献」の書き方

[本の場合]

本の最後のほうに「^{おくづけ}奥付」という、本を作った人や団体のことを書いたページがあるよ。その奥付の中から重要なポイントを書き写しておこう。

- ①書名(本の名前)
- ②著者名(本を書いた人の名前)
- ③出版社(本を出した会社の名前)
- ④出版年(本ができた年)
- ⑤請求記号
- ⑥ページ
- ⑦図書館名(本を借りた図書館の名前)

請求記号とは、図書館の本に貼ってある背ラベルの数字のこと。

[新聞の場合]

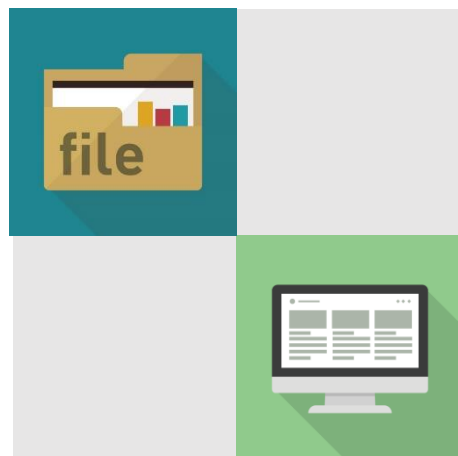
- ①新聞記事名
- ②記事を書いた人の名前

↑ 記事の最後に名前が書かれていなければ書かなくてもOK!

- ③新聞紙名
- ④記事の出た年月日
- ⑤朝刊か夕刊か
- ⑥ページ(面)

[インターネットの場合]

- ① Webページのタイトル
- ② 著者名(Webページを作成した人)
- ③ Webサイトの名称
- ④ 更新日付
- ⑤ 参照年月日
- ⑥ 入手先(URL)



4. 記録カードを整理しよう

記録カードを整理すると、自分が何を調べ・考えて今の考えになったのかということがはっきりするよ。
また何ができて、何ができていないのかということが分かるよ。

⇒新たな疑問がでてきたらもっと調べよう！

整理のポイント

調べたことは「事実」。

自分が考えたことや、思ったこととは違うので、一緒にしないようにしましょう！

まとめるときも「調べたこと」と「考えたこと」は分けて書きましょう。

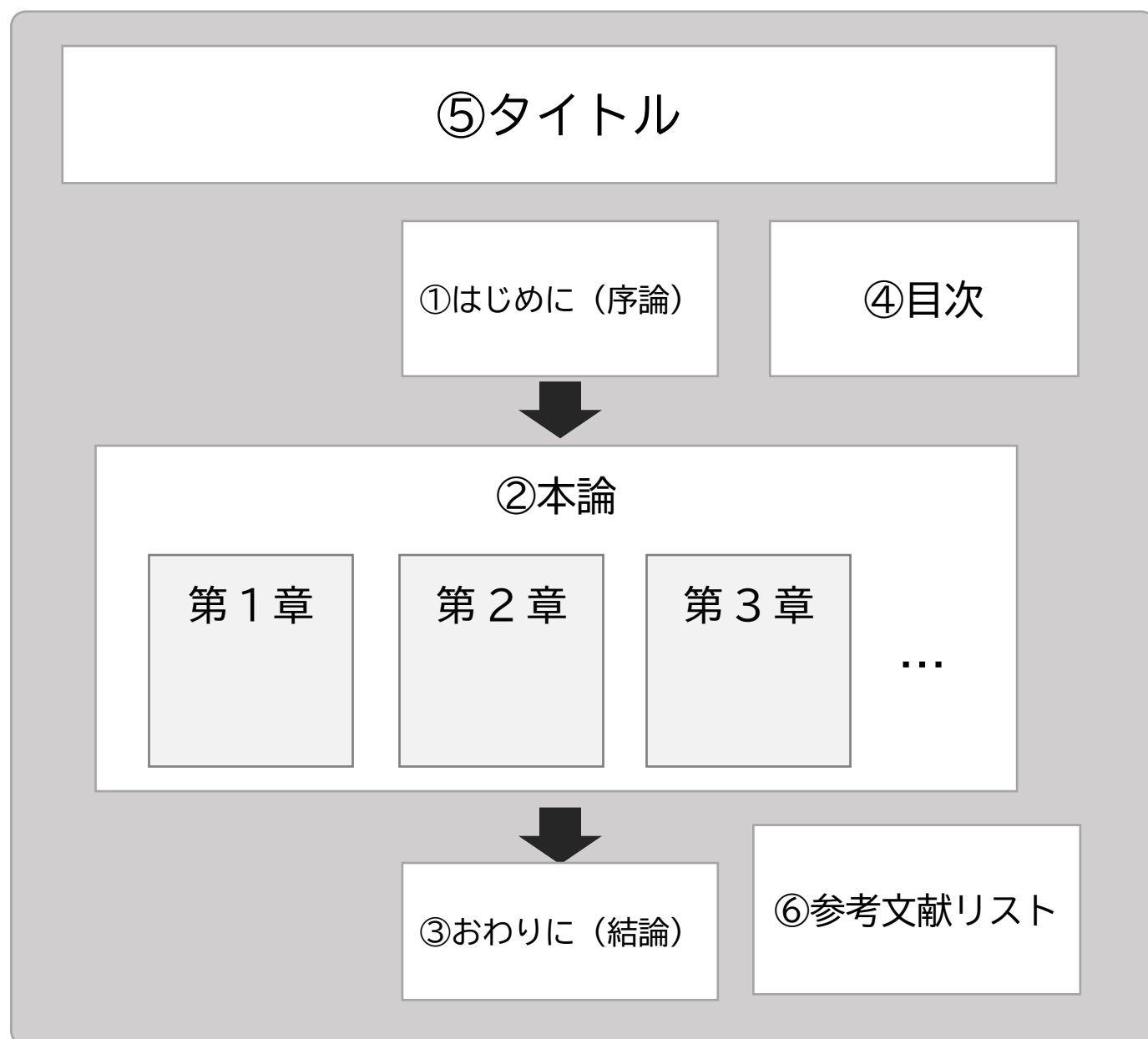


5. 調べたことをまとめよう

いよいよ作品を仕上げていきます。

どういう順番で書いていくか、きちんと考えてからまとめていくのが良い作品を作るコツです。

<まとめ方の例>



まずは「はじめに（序論）」をかいてみましょう！

①はじめに(序論)

テーマと調べた理由を書く。

「どうしてこのテーマを選んだのか」という理由を書こう。なぜ調べてみようと思ったのかな？

僕の場合は…

テーマ 「どうして鳥は空を飛ぶのか」

理由 「どうして鳥は飛ぶのか気になったから」

予想 「高い木の上の木の实を食べるため」

この3つについて【はじめに（序論）】に書いていくよ！



次にまとめの中心になる「本論」です。

p.15 の整理のポイントでもあったように、
“考えたこと”ではなく、“事実”を書きましょう

②本論

調べる前に予想したことや、

何をどうやって調べていったのかを書こう。

記録カードにまとめた、調べて分かったことも書いていこう。

予想は p.6 のドーナツチャートで

予想したことを書こう！

予想をもとに図書館の本で調べてわかったこと
をまとめよう。インターネットや他の方法で調
べたならそのことも書いてくよ。



調べたことが書けたら、つぎは「おわりに（結論）」です。

③おわりに(結論)

調べて分かったことについて

自分はどう感じたか、どう思ったかを書こう。

調べる前と調べた後で考えが変わったところも書こう！

調べてわかった時にどんな風に思ったかな？

おどろいたことや「なるほど」と納得したことがあれば書いてみよう。

「うーん」と変に感じたなら、違う本でもしらべてみるといいね。



作品を仕上げていきましょう。

④目次、⑤タイトル、⑥参考文献リスト、も重要です。

最後までがんばろう！

④目次をつくろう

1つのまとまりごとにタイトルをつけよう！

それが書いてあるページも書いておこう。

⇒このハンドブックの p.2 が目次だよ。参考にしてね！

目次は作品の一番初めに書きましょう！



読みやすいように目次を工夫してみよう！
読みたくなるようなタイトルってどんなの
かな？

⑤タイトルを考えよう

タイトルはとっても大切。自分の考えたテーマが、みんな
に伝わるようなタイトルをつけよう！

⑥参考文献リストを書こう

参考文献リストは調べるときに使った

本の情報をリストにしたものだよ。

記録カードに書いたものをそのまま写していけばいいよ！

<書き方の見本>

\\ かならず 3 冊以上書こう！ //

No.	著者名	書名	出版社	出版年	請求記号
1	赤木かん子	お父さんが教える自由研究の書きかた	自由国民社	2009	002
2					
3					

⋮

これで終わりです！おつかれさま♪

応募カード※に記入して、ノリかテープで

しっかりと作品に貼って、

学校または図書館に持ってきてくださいね！



※応募カードは「調べる学習コンクール」のチラシにあります。

著作権に気をつけよう

*「著作権」ってなに？

著作権とは…

本や新聞、雑誌、インターネットに書かれていた文章は、他の人が勝手に使えないように、「著作権」というもので守られています。他の人が書いた文章をそのまま丸写しして、まるで自分が書いた文章のようにして使うことはできません。

「調べて分かったこと」を書く時には、注意しよう。

…でも、作品を仕上げる時にそのまま使いたい文章がある時は？

そんな時は、「引用（そのまま書き写すこと）」と
「要約（要点をまとめて書きとめること）」という
ワザを使おう！



「引用」と「要約」のちがい

*「引用」・「要約」ってなに？

「引用」(そのまま書き写すこと)



自分の考えを説明する時に他の人が書いた文章を使って説明することを、「引用」というよ。「引用」したい時には、その文章が本から借りたことが分かるようにしなければならないよ。

自分の文章と区別するために書き写した文章を「 」や“ ”を使って書き、書き写した文章の後に、その文章がのっていた本のタイトル・出版社・出版年・ページ数を記入すれば「引用」ができるよ！

「要約」(要点を自分の言葉でまとめて書くこと)



「要約」は、本の中の「自分にとって大切な文章」を短くして他の人が読んでも理解出来るようにまとめるということだよ。

「要約」する時のコツは、最初に自分が何についてまとめているのかを説明しておくことだよ。「これは〇〇について書かれている」ということをまず説明してから、次に大切なところを短く自分の文章でまとめて書こう。まとめるためには「いつ」「だれが」「何を」「なぜ」「どのように」をはっきりさせて文章を作ろう！

「参考文献」ってなんだろう

参考文献とは…

必要な情報が載っていた本や新聞・パンフレットのこと。
まとめる時、どの資料で何を調べたか分かるように、
図書館に本を返す前に必ず「参考文献」をメモしておこう！



調べる学習コンクール作品には、他の人が見た時に何の本を使って調べたかが分かるように、必ず作品の最後に「**参考文献リスト**」を付けることになっています。

「参考文献」をメモする時は、「参考文献リスト」に記入しやすいようにメモしておくと簡単にリストを仕上げることができるよ！

百科事典の使い方

百科事典は、世の中のいろんなことがのっている本です。
調べるのに困ったときには大活躍！

百科事典の中で、これは面白そうという言葉を見つけたら、
その言葉をもう一度百科事典で引いてみよう。

①索引さくいんを使おう！

索引さくいんはあいうえお順に言葉がならんでいて、

そこをみればどのことがらが、本のどのページにのっているかが分かるようになっています。ポプラディアなどの巻数の多い事典などは索引さくいんだけの巻もあるよ。



索引さくいんは事典の後ろのほうにあるよ！

②つめをみよう！

本の背の反対側にある色分けされた部分のことをつめというよ！1つの色のかたまりで、「あ」のつく名前のももの仲間・「い」のつく名前のももの仲間と分かれていて探しやすくなっているよ。



たとえばポプラディアで“木の実”と引いてみると、

木の実

木になる果実。学術的な用語ではなく、とくに、熟すと赤や黄色などよくめだつ色になる果実や、どんぐりやクルミなど大きくて丸い果実をいう場合が多い。木になっているものでも、かさかさとかわいたような果実は、木の実とよばれないことが多い。

と、5巻の p.37 に書かれていたよ！

泉佐野市「図書館を使った調べる学習コンクール」

作品を作るときのルール

①作品のサイズとページ数

B4 サイズまでの大きさと 1 ページから 50 ページまでの作品

※表紙・目次・資料集・参考の文献一覧は含みません。

②テーマの内容を調べるときは、必ず公立の図書館または 学校図書室を使ってください。

※泉佐野市立図書館には、「調べたいテーマの内容」を相談できる
スタッフがいます。スタッフに相談すると、調べたいテーマの資料
が早く見つかるかも！

このワッペンが目印！



③調べたときに使った資料名と図書館名を

「参考・引用文献一覧」に記載してください。

※「参考・引用文献一覧」は、必ず作品の巻末につけて下さい。

記録カード

課題(テーマ)

調べること

調べて分かったこと (引用する時は「」をつけて書きましょう)

自分の感じたことや考えたこと

参考文献	本・雑誌・新聞	書名(新聞記事名)	
		著者名(記者名)	請求記号(朝刊/夕刊)
		出版社(新聞紙名)	出版年(新聞の日付)
		調べた場所(図書館名)	
		利用したページ p. ~ p.	
	インターネット	タイトル・作成者	
		情報を確認した日	
		URL http://	

参考文献

『マイテーマの探し方 探究学習ってどうやるの?』

片岡則夫/著 筑摩書房 2021

『図書館へいこう!3 テーマって…どうやって決めるの?』

赤木かん子/文 すがわらけいこ/絵 ポプラ社 2007

『アクティブラーニング:調べ学習編

テーマの決め方から情報のまとめ方まで』

西岡加奈恵/監修 PHP研究所 2017

『お父さんが教える自由研究の書きかた』

赤木かん子/著 自由国民社 2009

『図書館へ行こう! 図書館クイズ 知識と情報の宝庫=

図書館活用術』

山形県鶴岡市立朝陽第一小学校/編 国土社 2007

『総合百科事典ポプラディア 5 第3版 きた く けの』

ポプラ社 2021

This image shows a full page of white paper with horizontal dashed lines, typical of primary-ruled notebook paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.